

奈良県後期高齢者医療広域連合から提供を受けた既存資料を用いた研究へのご協力のお願い

奈良県立医科大学と奈良県歯科医師会は、以下のデータ分析研究を実施しています。この研究では、後期高齢者医療広域連合から提供された健診データを使用させていただくものです。この研究のために、新たに健診などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの方またはご家族は、遠慮なく2026年12月31日までにお申し出ください。お申し出いただいた方の情報は使用いたしません。また、お申し出いただいても、不利益が生じることは一切ありません。ただし、個人が特定できない形で、集団レベルの分析結果が完成した後のお申し出の場合は、申し出者のデータを削除できないことがあります。ご了承ください。

後期高齢者口腔健診が健康寿命・予後に及ぼす影響に関する歴史的コホート研究

1. 対象となる方

2016年4月1日時点の奈良県後期高齢者医療被保険者

2. 研究責任者

奈良県立医科大学疫学・予防医学講座、健康増進支援センター 佐伯 圭吾

3. 研究の目的と意義

2016年度に奈良県後期高齢者広域連合より奈良県歯科医師会へ委託して行った「お口の健康診査（以下「口腔健診」とする。）」が、その後の要介護発生、健康寿命喪失、死亡といった健康イベントの発生リスクや医療・介護費に及ぼす影響を明らかにすることです。

4. 研究の方法

本研究は2016年をベースラインとして、当時の特定健診および口腔健診の受診状況、口腔健診結果とその後5年間の健康リスクおよび医療・介護費との関連について、既存データを用いて分析をする歴史的コホート研究です。具体的には、分析対象者を1) 特定健診と口腔健診未受診者、2) 特定健診のみ受診者、3) 口腔健診のみ受診者、4) 特定健診と口腔健診の両方の受診者の4群に分類し、健康リスクおよび医療・介護費の比較を行います。さらに口腔健診受診者においては、口腔健診で調査した口腔衛生習慣や、口腔衛生状態と健康リスクや医療介護費の関連を分析します。

5. 使用する情報

既存データとして存在する、健康診査及び口腔健診データと、アウトカムである死亡、要介護認定、健康寿命喪失、医科・歯科医療費、介護費のデータです。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学疫学・予防医学講座、健康増進支援センター 佐伯 圭吾

7. 研究の実施体制

この研究は、他の機関と共同して実施します。実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

奈良県立医科大学疫学・予防医学講座、健康増進支援センター 佐伯 圭吾

研究分担者

奈良県立医科大学

健康増進支援センター 富岡 公子、和家佐 日登美、信野 左千子

地域医療学講座 周藤 俊治

疫学・予防医学講座 小向井 英記

共同研究機関

奈良県歯科医師会 末瀬 一彦、森 直樹、岡本 吉彦、松村 清子、吉田 賢慈、

小向井 英記

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2030年12月31日

9. 個人情報の取り扱い

本研究の分析においては、別途作成した ID 番号によって個人を分類することによって、氏名や住所といった個人を特定する情報を用いることはありません。分析は全て奈良県立医科大学疫学・予防医学教室で行い、個人情報等のデータは施錠可能な研究室にて、厳重に保管されます。研究に使用するデータを取り扱う P C はインターネットに接続していない状況で使用します。

10. お問合せ先

奈良県立医科大学疫学・予防医学講座教授 佐伯 圭吾

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL : 0744-22-3051 (代表)

FAX : 0744-22-4121 (代表)

E-mail : saekik@naramed-u.ac.jp